

60201木材伐出業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	8 ~ 9	森林整備センターでチェーンソーを使いすぎの間伐作業をしていたとき、伐倒した木(径18cm位)が下方のスギにかかり木となったため、下方のスギを伐倒して処理していた。その際、急斜面のため、かかり木が外れていきなり倒れ、避難する暇もなく、背中にのしかかり、下敷きになって、腰、背中に圧迫骨折を負った。	70	4	712	1~ 9
2	2020	1	13 ~ 14	伐倒前の準備作業として受け口を作った。その後、再度受け口の切り終わりの部分(会合線)を手直した際、チェーンソーがキックバックを起こし、チップスを使用し防護している前面ではなく内側に入り込んだため、右膝内側に裂傷を負った。	47	8	136	10 ~ 29
3	2020	1	10 ~ 11	山林斜面で、チェーンソーで直径約20cmの檜の枯れ木を伐採した。その反動で立木上部が分解して崩れ落ち、複数の枝や幹が落下してきた。その際、枝(直径約13cm、長さ約80cm)が顔面を直撃し、頭蓋骨眼底を折り、動眼神経麻痺が生じた。被災時、網面付き防災ヘルメットを着用していた。	42	4	712	1~ 9
4	2020	1	8 ~ 9	作業路の上方にある伐倒木にワイヤーを掛けて集材作業をしていた際、退避していた被災者の方へ木が向かってきた。その際、咄嗟に約2m下の作業路に飛び下りたところ、左足が石の上に着地し、踵を骨折した。	45	1	173	100 ~ 299
5	2020	2	9	ファーム内の山で伐採作業中、高さ5~6mで太さ10cmほどの木を高さ50cmで切断した際、切り落ちた木が左足に落ちて、左足親指を	44	4	712	1~ 9

			10	骨折した。				
6	2020	2	14 ～ 15	伐採作業中にかかり木が生じ、重機で処理するために放置していた。その後、再びかかり木が生じ、自分の手で木を押して外そうとしたところ、最初のかかり木の方にぶつかりその反動で根元が自分に向かったため、2mほど飛ばされ、胸部を打撲した。	62	6	712	10 ～ 29
7	2020	2	10 ～ 11	山林で作業員2名にてチェーンソーによる伐倒木の玉切作業を行っていた。伐倒木がしなっていたため切った反動で跳ね返り、玉切りした木と別の木の間で右下腿部を挟まれ打撲を負った。	42	7	712	10 ～ 29
8	2020	2	14 ～ 15	山林で間伐作業中、曲がった木をチェーンソーで切っていた際、気が大きく曲がっていたため切ったはずみで木が足に当たり、左踝を打撲した。	64	4	712	1～ 9
9	2020	2	11 ～ 12	チルホールを使用して伐倒作業をしていたとき、木が倒れる方向に退避したため、木の枝に当たり、背骨と肋骨を折った。	51	6	712	1～ 9
10	2020	2	10 ～ 11	車の後部座席に同乗して現場へ移動中、道路工事のための信号機が赤だったので、停車していた。その際、対向してきた相手車両が当方車両の前方に衝突し、その衝撃で腰をねじり、腰骨がずれて神経を圧迫した。	56	17	231	10 ～ 29
11	2020	2	10 ～ 11	平地林で伐採・造林作業中、伐採木を重機で動かしたとき、伐採木が重機の後方にいた作業員に当たった。その衝撃で作業員が転倒し、右肋骨と右鎖骨を折り、左耳を負傷した。	53	2	712	10 ～ 29
12	2020	2	15 ～ 16	傾斜地40度程度の皆伐現場で、木を倒すため受口を作っている際、石（100kg程度）が落下してきた。その際、石に当たり、右膝、左大腿部、左手に挫創を負った。	38	4	711	10 ～ 29
13	2020	2	14 ～ 15	斜面で、伐採された雑木の整理中、足が滑り転倒し、転げ落ちた。その際、背中・腰に打撲を負った。	80	2	711	1～ 9

14	2020	2	8 ～ 9	倒木した杉の枝払いをチェーンソーで行っていた際、枝がチェーンソーに当たって刃が左足に接触し、下肢に裂傷を負った。	71	8	136	1～ 9
15	2020	2	11 ～ 12	山林で間伐作業中、チェーンソーで材を切り離した際、切り離された材が滑り落ち、材と残存木との間に左足が挟まれて骨折した。	38	6	712	1～ 9
16	2020	2	12 ～ 13	現場に入ろうとしたところ、前方から重機が降りてくるのが見えたため、見通しが良いところに退避した際、足を踏み外して転倒し左橈骨遠位端を折った。	30	2	142	10 ～ 29
17	2020	3	8 ～ 9	木材を積もうと車の後ろバンパーに足を掛けたとき、体勢を崩して地面に落ち、右橈骨頸部を折った。	58	1	221	10 ～ 29
18	2020	3	10 ～ 11	山中で直径30cmのクリの木を伐倒した際に、この木の上方と、約4m後方にあるクリの木の枝（直径約20cm）に絡んでいたツルにより枝が引っ張られ、裂けて落ちた部分が背中にぶつかって胸椎を脱臼骨折した。	25	4	712	1～ 9
19	2020	3	9 ～ 10	チェーンソーで杉並木直径28cmの伐倒作業中、受け口を取って次にチェーンソーの上側で追い口に入り、途中でクサビを入れたときにチェーンソーが動き出して左手の小指、中指に当たり、切傷を負った。	43	8	136	1～ 9
20	2020	3	14 ～ 15	伐倒作業中、木が倒れる際に退避場所へ移動しようとしたとき、チェーンソーの刃が左足首に当たって挫創を負った。	60	8	136	30 ～ 49
21	2020	3	10 ～ 11	道路沿いの桜の木（高さ4m、25cm径）で伐採作業中、枝打ち後の倒木するため、チェーンソーで切れ込みを入れた際、チェーンソーが木に噛み、右手を倒れた木に挟み右手第2指を裂傷、骨折した。	70	7	136	10 ～ 29
			9	間伐の現場で、集材ウインチ付きグラップルで集材中、材が引っ掛				1～

22	2020	3	～ 10	かりワイヤーを緩めた際、ワイヤーが食い込み逆回転となり、指がワイヤーと材に挟まれて、右示指神経・腱に損傷を負った。	67	7	171	9
23	2020	4	～ 12	民有林で、伐倒木をワイヤーで巻き上げる際、玉掛け担当をしていたが、傾斜地だったため、滑って足をひねり、右足首を骨折し、靭帯損傷を負った。	48	19	719	～ 29
24	2020	4	～ 16 17	現場での作業を終えて下山する際、作業道を通るよりも近いため、柴が生い茂る斜面を下りていた。そのとき、雨降り後ということもあり、足を取られて転倒しそうになり、左足で踏ん張った際に、柴に当たり、左足ふくらはぎに筋肉断裂を負った。	55	19	719	～ 30 49
25	2020	4	～ 14 15	土場で造材作業中、切った材木を移動させようと手で持ち上げた際に足が滑り、左手中指が材木の下敷きになり骨折した。	49	2	522	～ 10 29
26	2020	4	～ 9 10	山林内で木材の間伐作業中、玉切りした木材（16cm×2m）の杉材がまくれてきて右腰部に当たり、腰部打撲、頸部捻挫を負った。	82	6	712	1～ 9
27	2020	4	～ 8 9	山林内で運搬車（フォワーダ）の運転席に乗り込もうとした際、路肩横の斜面で左足を強くひねり、腓骨筋腱脱臼を負った。	57	19	711	～ 10 29
28	2020	4	～ 15 16	草木の伐採作業中、大きな段差が草木で覆われて見えにくかったため、足を引っ掛けて滑り右足首を捻挫した。	18	2	416	～ 10 29
29	2020	4	～ 10 11	山林の中、支障木伐採中に傾斜地で枝が跳ねる可能性があるかかり木の処理を実施している際、かかった枝の力点を誤り、切断中に枝が跳ね顔面に当たり、右前頭骨骨折、脳震とう後症候群を負った。	44	6	712	1～ 9
30	2020	4	～ 9 10	木材伐採中、直径15cm程の木を切ったところ、跳ね返って右足首に当たり、右足関節内果、外果を折った。	48	6	712	1～ 9

31	2020	4	10 ～ 11	木を伐採している際、チルホールのワイヤーがはずみで左足膝下に当たり骨折した。	67	4	379	～ 29
32	2020	5	14 ～ 15	山土場で広葉樹パルプ材を玉切中、切った後に前に移動しようとして丸太の上に上ったとき、その丸太が動いて転倒を防ごうとして左足を強く踏んだため、左腓腹筋挫傷、左下腿部皮下血腫を負った。	72	19	921	1～ 9
33	2020	5	11 ～ 12	伐採した木の集積、手直し作業をされていて、1つの現場が終わりもう1つの現場へ移動中に、足を踏み外して滑落し、左足脱臼骨折、右鎖骨骨折、右肋骨骨折を負った。	70	1	711	10 ～ 29
34	2020	5	15 ～ 16	皆伐現場で、受け口を切った後、斧目を入れようと移動した。その際、足下に溜まっていた枝に左足が挟まり、転倒して骨折した。	37	2	712	10 ～ 29
35	2020	5	14 ～ 15	山林で木材を伐倒した際、チェーンソーが切株と丸太の間に挟まった。チェーンソーを取り出すため、丸太を動かす道具として、枝を鉋で切って使おうとした。その際、鉋が枝をはじき、左手甲に当たって骨折した。	21	4	364	10 ～ 29
36	2020	5	13 ～ 14	間伐の現場で、伐倒した木が立木の間を縫うような形で倒れ、張力が発生し、玉切りをした際、不注意で異なる場所を切り、材が跳ね、左膝に当たり靭帯を損傷した。	28	6	522	100 ～ 299
37	2020	5	13 ～ 14	傾斜地で木の伐採作業中、倒木を切り離して玉切りを行っていた際、木が滑り落ちてきて左足と左胸に当たり打撲傷を負った。	21	6	712	50 ～ 99
38	2020	5	15 ～ 16	工場でチェーンソーを使って丸太を切っていた際、足の位置を変えたところバランスを崩し、左足首にチェーンソーが接触して挫滅創を負った。	56	8	136	1～ 9
39	2020	5	9 ～	林内整備作業に従事中、斜面の上から直径20cmの石が転がってきて、右足親指に当たり骨折した。	35	4	711	30 ～

			10						49
40	2020	5	9 ～ 10	森林調査のため、山林内へ立ち入る際、足下の切り株につまずいて転倒し、右肩腱板断裂を負った。	70	2	417	30 ～ 49	
41	2020	5	16 ～ 17	集材の荷付作業中、丸太に乗って足が滑り、大腿四頭筋に断裂、血腫を負った。	66	1	712	1～ 9	
42	2020	5	15 ～ 16	伐採作業現場で、伐採した杉が倒れてきたため、脇腹に当たり、右側腹部に打撲、皮下出血を負った。	43	6	712	—	
43	2020	6	17 ～ 18	杉の間伐作業に入る前に周囲の巡回と、足下確保を良くするため、雑草木の刈払い作業中、ツツガムシに刺された。	48	90	719	1～ 9	
44	2020	6	10 ～ 11	国有林で刈り払い機を使用して下刈り作業中、切り株に刈り払い機の刃が当たってキックバックした勢いで転倒した。その際、刈り払い機の刃が右足下腿部に当たり、右前脛骨動脈断裂、右前脛骨筋腱断裂、右長母趾伸筋腱断裂を負った。	78	8	169	1～ 9	
45	2020	6	9 ～ 10	山の傾斜面で枯れた苗木を抜き、新しい苗木の植え付け作業を行っているとき、枯れ木を抜く作業で力一杯引っ張った際、右胸に痛みを感じ、肉離れをおこした。	36	19	712	10 ～ 29	
46	2020	6	9 ～ 10	山林で伐採した木の枝を払う際、鋭角になった切り残し箇所には右手小指が当たり、切創を負った。	36	3	522	1～ 9	
47	2020	6	16 ～ 17	現場で、切り捨て間伐の作業中、伐倒した木が玉切りしていた木に当たり、木が跳ねて脛に当たり、右膝内側側副靭帯・前および後十字靭帯、右内側半月板に損傷を負った。	64	4	712	50 ～ 99	
			11	現場で、切り捨て間伐の作業中、追い口の切り方を誤り、木が倒れ				50	

48	2020	6	～ 12	てきて、退避したが逃げ切れず、木が顔・右腕・胸に当たり、右肋骨・右前腕骨・左眼窩を折り、外傷性気胸を負った。	65	6	712	～ 99
49	2020	6	9 ～ 10	下刈作業時、刈払機の刈刃が切株にあたりキックバックを起こして、切刃が右足小指に当たり右第5趾基節骨開放骨折、右第4、5趾挫創を負った。	57	8	169	10 ～ 29
50	2020	7	11 ～ 12	座ってチェーンソーの刃を研いでいるところに、ほかの伐木者の切った木が倒れてきて下敷きになり頸椎を骨折した。	35	6	712	1～ 9
51	2020	7	10 ～ 11	長さ2mの杉材をトビ（林業器具）を使いながら移動作業中、突然トビが外れ、そのはずみで3.2mの高さから側溝に転落して両足の踵を骨折した。	60	1	364	50 ～ 99
52	2020	7	15 ～ 16	造林地で下刈り作業中、刈り払い機の刃が切株に当たってキックバックを起こし、左足中指に切創を負った。	57	8	169	10 ～ 29
53	2020	7	8 ～ 9	山林で、ヒノキ（直径20cm、長さ20m）を伐採中、かかり木になり、木をゆすった際、木の根元が外れて滑り落ち、右足甲に当たり、右足中足骨を折った。	53	4	712	10 ～ 29
54	2020	7	13 ～ 14	谷沿いで、約高さ15m胸高径18cmの檜をチェーンソーで伐倒したところ、材の先が対岸の山に当たり、元側が跳ね上がり下方にずれ落ちて着地したところに、被災者の左足があり左腓骨を折り、関節を捻挫した。	73	6	522	1～ 9
55	2020	7	7 ～ 8	追い口を入れて伐倒作業をしている際、追い口が閉まりそうになったため、チェーンソーのエンジンを止めクサビを入れたが、完全にチェーンソーが止まってなく、左中指に裂挫創を負った。	33	8	136	1～ 9
56	2020	7	16 ～ 17	傾斜地を刈払い機で払っていた際、刃先が地面に当たりキックバックして、左足甲に損傷を負った。	20	8	169	30 ～ 49

57	2020	8	10 ～ 11	チェーンソーを使用して杉の木を伐採していたとき、伐採した杉の木がヘルメット未着用の被災者の頭部に直撃し、打撲を負った。	47	6	712	1～ 9
58	2020	8	16 ～ 17	被災者と重機オペレーターの2名で伐採作業をしていた。終業近くになり、被災者が片付けをしようとして重機（グラップル）の作業範囲内を歩いて通過した。その際、重機オペレーターが、被災者の存在に気付かずに伐倒木を移動させ、被災者の右脛に接触して骨折した。	39	6	171	50 ～ 99
59	2020	8	15 ～ 16	山林で、伐採作業中、倒した木を玉切した際、斜面に集積した木（玉切した木）が転がり、左腕に当たり、打撲を負った。	41	6	712	50 ～ 99
60	2020	8	9 ～ 10	山中の緩斜面で間伐作業中、桧の枝払いをした際に枝の一部が飛び散り、破片が右目を直撃して眼底打撲を負った。	47	4	136	1～ 9
61	2020	8	14 ～ 15	伐採搬出現場で伐倒作業中、雑木を切った際、地面からオオスズメバチが飛び出してきて、作業道の方へ逃げる途中で、右膝裏と左肩を刺された。	48	90	911	30 ～ 49
62	2020	8	10 ～ 11	作業現場で集材作業中、上方から転がってきた石で、右鎖骨を折った。	27	6	523	10 ～ 29
63	2020	8	11 ～ 12	間伐作業現場で、作業道の支障木を集材中、グラップルで木材を掴んで移動していたところ材が落ちてしまい、下方で肩掛け作業をしていた被災者の右手首に落ち骨折した。	62	4	522	1～ 9
64	2020	9	13 ～ 14	民有林の皆伐現場で伐倒作業に従事中、伐倒時に支障となるシバをチェーンソーで切断しようとしたところ、地割れしていた箇所足が落ちた反動でチェーンソーが左腕に当たり、左肘開放骨折を負った。	41	8	136	10 ～ 29
				間伐の伐倒作業中、伐倒した木（長26m、経40cm）が狙った方向と				

65	2020	9	10 ～ 11	違う横方向に倒れ、かかり木になりクサビも挟まれた。そのため、同僚が重機でかかり木を外して倒し、集材のため重機で根元を少し引っ張ったところ、その木の横にあった立ち枯れ木（長12m、経16cm）の根元に接触し、そのはずみで立ち枯れ木が倒れ、背中に当たり左肋骨、右胸椎を骨折した。	63	5	171	10 ～ 29
66	2020	9	15 ～ 16	傾斜約25度の山林内で間伐作業をしているとき、かかり木になったため、チェーンソーを使い、根本を切り離したときに、根本が外れ、思わぬ方向に根元が跳ね上がり、左脇腹に当たり、骨盤骨折、左腰椎横突起骨折、左肋骨多発骨折を負った。	43	6	712	1～ 9
67	2020	9	11 ～ 12	県有林搬出現場で索道・架線作業中に、ワイヤーが木に掛かっていることに気付かず、機械が引っ張ったところ、木からワイヤーが外れ、被災者の方へ飛んできた。その際、ヘルメットを着用していなかったため、頭部・顔面・右眼球に打撲傷を負った。	33	4	217	10 ～ 29
68	2020	9	12 ～ 13	国有林の傾斜地で、伐倒した木材の枝をチェーンソーで払っていたとき、チェーンソーがキックバックを起こした。その反動でチェーンソーが左足甲に当たり、裂傷を負った。	45	8	136	10 ～ 29
69	2020	9	11 ～ 12	伐倒作業中に掛かり木があり、掛かれた木を倒そうとしたところ、掛かり木が落下して頸部を直撃し、頸椎骨折により死亡した。	69	4	712	1～ 9
70	2020	9	10 ～ 11	造林内で、地拵えの片付け中、丸太が転がり、右足に当たり、右腓骨・右腓骨後顆・右足関節を骨折した。	68	6	712	1～ 9
71	2020	9	10 ～ 11	山林内で作業道の見回り中、忘れていたロープを撤収するため2.5mほど登り、ロープを切り株に掛けて緩めながら作業道へ下降していた際、ロープが外れて落下し建設機械に衝突して胸と背中に創傷を負った。	45	1	379	1～ 9
72	2020	9	13	造林地で間伐作業中、上部でツルが絡まってかかり木になったため、玉切りを行い切り目を入れて引いたところ、木が滑り落ちて切	68	4	712	1～

			14	り口との間に右手を挟み小指を骨折した。				9
73	2020	9	8 ～ 9	山林で伐採中、小雨で濡れていたため足が滑り、安全靴を履いていたが、右足第5趾の伸筋腱断裂を負った。	32	8	136	1～ 9
74	2020	9	14 ～ 15	山林で間伐作業中、斜面で足を滑らせて転倒し、腰を亀裂骨折した。	67	2	711	10 ～ 29
75	2020	9	10 ～ 11	山林で、チェーンソーで杉を倒している際、体勢を崩し滑る形で腰をひねったまま地面に倒れ、腰椎捻挫を負った。	70	2	711	1～ 9
76	2020	10	8 ～ 9	造材作業中、2本の立木の間横倒しになっていた、カラマツ風倒木の根切りをしていたとき、チェーンソーが木に挟まったので、クサビを打ち込んだところ、切断した根と幹が外れて風倒木の幹が左足の脛にぶつかり、骨折した。	36	6	379	1～ 9
77	2020	10	14 ～ 15	作業道新設にあたり、倒木作業に従事していて、重機で倒木の処理を行っていたとき、倒木に引っ掛かっていた枝が落下し、開放していた上部天板より入り、ヘルメットのツバに直撃し、頸椎損傷を負った。	31	4	712	1～ 9
78	2020	10	14 ～ 15	山林内で間伐作業中に体に痒みがあり、後日発熱し、ツツガムシ病になった。	38	90	719	1～ 9
79	2020	10	10 ～ 11	山林の斜面で、枝払いをして移動中、倒した木に掴まり、乗り越える際、木が転がり、一緒に転倒して、肋骨を折った。	51	2	712	1～ 9
80	2020	10	14 ～ 15	人工林内の間伐・伐倒作業で、かかり木を揺さぶり回転させて落とす作業を繰り返し行っていたところ、右肩関節に過重な負担がかかって捻挫した。	44	19	522	10 ～ 29

81	2020	10	8 ～ 9	現場に向かう途中、山を登っているとき石の上に足を乗せたところ、石が動いて滑り転倒して、左脛骨外顆骨折、左大腿骨外顆骨折を負った。	47	1	711	～ 29
82	2020	10	8 ～ 9	山林で、チェーンソーで雑木の伐採を行っている際、伐倒した木が倒れてきて、左脛腓骨骨幹部を折った。	66	4	712	1～ 9
83	2020	10	12 ～ 13	伐倒したヒノキの振動で、上方にあった石が滑り、退避した方向に左足を巻き込みながら落ち、左足首に捻挫を負った。	38	5	711	1～ 9
84	2020	10	13 ～ 14	バックホウから外したバケットに、ワイヤーをかけてフォークローで吊り下げる際、フォークローで手を挟み、右有鉤骨鉤骨折を負った。	53	7	141	1～ 9
85	2020	10	10 ～ 11	フォワーダーで搬出作業の途中、プロセッサに燃料を給油し降りようとしたところ、バランスを崩してプロセッサのステップ（高さ1.1m）から地面に落下し、左上腕骨骨幹部骨折、左前腕部打撲を負った。	29	1	171	10 ～ 29
86	2020	11	11 ～ 12	天然林の除間伐を4人で作業中、コブシを伐採したところ、コブシ後方にセンノキがあり、それに隠れていたセンノキ双生木（枯損木）が、被災者の方に倒れてきて、腰と腰袋のまさかりの間に挟まり、腰椎棘突起、肋骨を折った。	56	5	712	1～ 9
87	2020	11	15 ～ 16	伐採作業現場で倒した木をチェーンソーで切断していたところ、伐採予定の木が不安定な状態で枝が跳ね返り、右足膝前面を負傷し、右腓骨にヒビが入った。	43	6	522	1～ 9
88	2020	11	11 ～ 12	三脚に上がって木の剪定をしていたとき、三脚が揺れて約2.5mの高さから地面に落下し、背中を強打して頸椎を捻挫した。	71	1	371	10 ～ 29
			13	山林で間伐作業中、立木を伐採する際に斜面上方から丸太（直径				10

89	2020	11	14	20cm×長さ1m) が転がってきて左足を直撃し、挫傷を負った。	34	6	712	~	29
90	2020	11	16	木の捨て切り作業中、切り落とした木材が左足上に落ちて親指を切断した。	49	4	712	1~	9
91	2020	11	15	山の斜面で伐木作業中、木を切った際にかかり木が落ちてきて右肩に当たり、腱板に炎症を負った。	42	6	712	10	29
92	2020	11	11	山林内で間伐作業中、倒木を避けるため離れたところで待機していたが、木が倒れる際に他の木と接触して方向が変わり、接触して鎖骨を折った。	42	6	712	10	29
93	2020	11	15	山の上からワイヤーで送られてきた荷物を外す作業中、左手薬指をロージングブロックとワイヤーに挟まれて骨折した。	60	7	217	1~	9
94	2020	11	9	伐採している際、倒した木の方向がずれて枯れ木に当たり、折れた木が作業員の後頭部に直撃し、左肩甲骨関節窩骨折を負った。	40	6	712	1~	9
95	2020	11	9	杉の木を切った際、椎木に当たり、折れた杉の先端が後頭部に当たり、脳挫傷、外傷後水頭症を負った。	75	6	712	1~	9
96	2020	12	15	伐採作業中、立木に折れた木（直径10~15cm）が掛かっていたのを目で確認しながらその立木を切った際、折れた木が背中から右太	55	4	712	1~	9
			16	腿にかけて落ちてきて、右股関節を脱臼した。					
97	2020	12	9	山の斜度40度から45度くらいの傾斜のある現場で、伐採集材作業の	29	1	711	1~	9
			10	玉掛け作業中にバランスを崩し、70mほど下に滑落し、外傷性臓器					
			13	舗装路で、木材の運搬中、居眠り運転で道路脇の縁石に乗り上げ、					1~

98	2020	12	～ 14	ハンドルが動き、右手甲に打撲を負った。	42	17	221	9
99	2020	12	10 ～ 11	ワイヤーウインチ付きのユンボを使用し伐倒木を集材中、埋まっていた切り株が転がってきて衝突し、胸椎・肋骨を折った。	40	6	712	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。